

(別紙 2 - 1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25 年 2 月 27 日

【事業所概要 (事業所記入)】

事業所番号	4271200547		
法人名	社会福祉法人 もみの木会		
事業所名	グループホーム もみの木の家		
所在地	〒859-3929 長崎県東彼杵郡東彼杵町里郷 1804-1		
自己評価作成日	平成 25 年 1 月 9 日	評価結果市町受理日	平成 25 年 3 月 13 日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 URL	
--------------	--

【評価機関概要 (評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本福祉医療評価支援機構		
所在地	〒855-0801 長崎県島原市高島二丁目七二一七		
訪問調査日	平成 25 年 2 月 13 日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点 (事業所記入)】

自然に触れながらゆっくりと暖かく、その人らしく暮らせるように支援。  
そのため、施設全体として楽しさ、温かみを感じていただけるよう毎週日曜日には  
手づくりのおやつ作りを行って楽しんでいただくとともに、布を使った飾り物  
づくり、温かみのある雰囲気演出しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点 (評価機関記入)】

近隣には、清流と四季の花の開花が楽しめる公園があり、利用者も散策されている。当該グループホームは平屋作りで、玄関を出ると川の流れる音が心地よく、自然環境も優れている。  
また、ホーム内は、利用者と職員の手づくりのパッチワークや貼り絵の作品と居室の名札・日めくりカレンダー・トイレの明示等見当識への配慮をされており、利用者の行事におけるスナップ写真をアルバムにして、整えられている。家族は、訪問時に居室で一緒に見られることで、生活状況を知り安心に繋がっている。職員は、「食の大切さ」に重視しており、嗜好調査等を取り入れ、おいしい食事の提供に試行錯誤で努められている。利用者のゆったりした穏やかな生活への支援に配慮して、チームワークを図り笑顔で関わられている。更に、法人内外の研修に参加後、職員会議で報告をしてケアのサービス向上に向けて、支援の共有を図られている。

## 1 自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>朝の申し送り時に理念を唱和し、穏やかに生活していただけるよう努めている。</p>	<p>理念である「自然に触れながらゆっくりと温かく、その人らしく暮らせる様に支援します」に沿って、職員の意識を持ち安心感を育んでいる。また、利用者のそばに寄り添って笑顔の関わりを、心掛けられている。</p>	
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入しており、町内行事の運動会や新茶祭り等に参加したり、おくんちには子供神輿が立ち寄られたりと交流を図っている。</p>	<p>地域の本の読み聞かせのボランティアや中学校の体験学習を受け入れられている。民生委員の心配事相談員の訪問で利用者との交流を持たれている。</p>	
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>P T Aを通じてベルマークや使用済みのカートリッジを持参したり、運営推進会議で話をしたりしている。</p>	/	/
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>2 か月毎に開催されており、利用者の活動・利用状況、避難訓練等を報告し、いただいたアドバイスや意見等を活用できるよう努めている。</p>	<p>会議は、消防分団長・民生委員・地区長・町職員に参加頂き、利用者の現状報告やボランティア参加・感染症予防対策の取組み等を説明している。参加者からの助言により、防災における協力関係が得られている。</p>	
5	4	<p>市町との連携</p> <p>市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>運営推進会議に町の担当者が出席されたり、こちらから職種毎に事業者会議に出席するなど、取り組んでいる。</p>	<p>会議で町職員より、制度の改正事項やホームの空き情報等傾聴でき、必要に応じ電話で相談もされる。町内の事業所連絡協議会で情報の共有や交流を持たれている。</p>	

6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>身体拘束は現在まで行っていない。母体で行われている身体拘束廃止勉強会に出席したり、玄関内外にブザーを設置し、夜間早朝等スタッフが一人の時間以外は施錠せず、行動制限を行わないようにしている。</p>	<p>法人内外研修で、接遇や支援の方法等の研修内容を回覧し、確認や会議で報告して、実践に繋がられている。また、職員は言葉かけにも注意を払っている。</p>	
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>言葉の暴力にならないよう、日頃からスタッフ間で注意しあったりして防止に努めている。</p>		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>お1人の方が制度を利用されており、毎月一回安心センターからの訪問があり、本人立ち会いで手続き等されている。</p>		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約締結、解約時は話し合いの場を設けて、十分な説明をし、理解・納得を図っている。</p>		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱を設置しているが利用がない。運営推進会議で家族からの意見・要望を確認し、運営に反映できるよう努めている。</p>	<p>家族の訪問時、口答での報告と利用者の状況写真をアルバムにして、見て頂ける様に配置されている。利用者の状況報告を電話で連絡して、改善に繋がられている。</p>	<p>家族の安心に繋がって、家族アンケートの実施や意見・要望の収集に努め協力関係の構築に期待したい。</p>
11	7	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>スタッフ会を開き、意見を言いやすいように雰囲気を作ったり、上層部出席の会議を月2回行っている。</p>	<p>管理者と職員は、相談ができる関係が保持されている。職員は研修での学びをケアに反映して、連携を持って共有されている。</p>	

12	<p>就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各自の自己啓発も含め、自分自身の行っている業務等についてアピールするよう指導し、特に賞与に反映させている。</p>		
13	<p>職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員毎に必要なと判断された研修については適時参加するよう勧めている。</p>		
14	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>事業者連絡会に月1回出席し、意見交換したり、相互に訪問したりして、サービスの質の向上に努めている。</p>		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>ご本人が困っている事、不安な事を受け止め、対応しながら、ホームの生活に慣れていただけるよう、密にコミュニケーションを取り、関係づくりに努めている。</p>		
16	<p>初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>入所に際し、希望・要望等を聞きとりながら、信頼関係を築けるように努めている。</p>		
17	<p>初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>ご本人・ご家族と話し、まず必要とされるサービスを見極め、利用開始時点でサービスが行えるように努めている。</p>		

18		<p>本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>日常生活の中で、昔からのならわしや料理の調理方法等、一緒に生活していく上で、相談したり、助け合ったりして関係を築けるように努めている。</p>		
19		<p>本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>年2回の行事への参加をお願いしたり、面会のが遠のかれている等には電話をかけ面会をお願いしたり、又、ご家族との食事の場を設けていただけるよう提案したりしている。</p>		
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>運動会や新茶祭り等で知人の方と話をされたり、知人の方が面会の来られた時は居室でゆっくりと過ごしていただけるよう、気軽にきていただけるように努めている。</p>	<p>帰宅願望のある利用者には、家族に理解と協力をえてドライブや外泊で家族との関係継続支援に努められている。また、家族と共に馴染みの美容室を利用されている。</p>	
21		<p>利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>食堂席やドライブ等の際の座席を気のあった方同士が一緒になるよう配慮したり、孤立することがないようにスタッフが間に入りたりして調整を行っている。</p>		
22		<p>関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>退所された利用者のご家族に近況をお尋ねしたり、必要に応じてお見舞いしたり、亡くなられた場合は甲間に行ったりしている。</p>		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日頃のコミュニケーション時に、思いや意向の把握に努めている。</p>	<p>入浴時の1対1の関わりで聞き取りをされたり、利用者の表情を見ていて、居室で思いや意向の聞き取りにより、家族との外食に繋がっている。</p>	

24		<p>これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>利用者の得意分野に合わせて、好きなことができるように努めている。</p>		
25		<p>暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>ゆっくり過ごしていただくため、利用者の体調に合わせて強要せず、利用者の力量に合わせた活動の支援に努めている。</p>		
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>3か月毎に見直し、日常の会話の中でチーム間で共有し、計画作成に努めている。</p>	<p>居室担当職員が利用者の状況と家族の意見・要望を聞き取り、ケース会議において話し合い、作成されている。作成後、家族に説明と同意を得られている。評価後、次の作成に繋がられている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>介護記録・健康チェック表・実施表を活用し、職員間で情報を共有し、見直しをしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>一人ひとりにあった柔軟なサービスを支援している。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>定期的な地元の美容室の来館や、足湯・食事会・ドライブ等、安全に可能な限り支援できるよう努めている。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入所前からのかかりつけ医の受診支援や町外受診もスタッフ対応で行っている。</p>	<p>かかりつけ医の継続受診と月1回又は、月2回の往診で健康保持に努められている。他科受診も職員が対応して、緊急の場合は家族の同行を依頼されている。</p>	

31	<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>併設の看護師やかかりつけ医の看護師に相談、必要に応じて受けられるよう支援している。</p>		
32	<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>年末年始の休暇期間の医療サービスを整えてもらったり、利用者の病状により看護師に相談等を行っている。</p>		
33	12 <p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化の際は、今後起こり得ること等をスタッフ間で話し合い、かかりつけ医・ご家族・上層部と十分に検討しながら方針を決めている。</p>	<p>看取りの経緯はなく、利用開始時、家族に看取りをしない方針の説明をして、同意をえられている。寝たきりになられた場合は、同一法人の特養に家族の判断で事前に申し込まれている。</p>	
34	<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年2回消防署の方加田を公氏に招いて行われている、併設での心配蘇生法講習会に参加している。</p>		
35	13 <p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年2回、消防署・地域の消防分団の立ち会いで避難訓練を行っている。</p>	<p>懐中電灯・毛布の他、水や缶入りパンを保管をしている。また、日々自主検査表の点検項目にそって確認を行っており、車椅子対応スロープの避難経路を新設されている。会議への消防分団の参加で、協力関係を構築されている。</p>	<p>災害の備えとして、危険予測のトレーニングの実施・利用者が避難できているか確認できる表示札・緊急持ち出しファイルの作成・備蓄リストの作成等、万全な体制の強化を期待したい。</p>

その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応をしている	日々の暮らしの中で慣れ合いにならないように、プライバシーを損なわない言葉かけ、行動に注意し、誇りを傷つけないように努めている。	失禁時等、周囲の利用者に配慮して、居室で対応されている。良好な関係保持に努めて、言葉掛けはゆったりと丁寧を意識して、声かけ支援をされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	スタッフ側で決定しないように、利用者の思いや希望に合った暮らしができるよう、利用者に関心している。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れや都合はあるが、一人ひとりのペースに合わせて自己決定されるように努めている。		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	外出時や行事行事毎等の時は楽しみながら洋服を選ばれたり、化粧をされたりしている。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	嗜好調査を行ったり、日々の暮らしの中で好みや食べたい物を聞きとり、献立に反映させたり、食事の際は季節の食材を取り入れながら、毎回献立を説明し、食事を楽しんでいただけるように努めている。	職員の勤務体制をもとに調理分担を決めて、利用者もできる事で調理のお手伝いをされている。味付け・彩りも良く、おいしい食事の提供を心掛けられている。今後、検食の明記を考慮されている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	併設の管理栄養士に献立が適切であるか確認してもらっており、又、利用者に関心した食事等提供している。		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行っているが、利用者の力量に合わせて声かけや介助等の支援を行っている。		



43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>定時誘導等声かけを行ったり、病気回復期や身体機能回復期にポータブルトイレでの自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>できるだけオムツの使用を少なく、便秘の予防に留意して、手足の運動・テレビ体操等を取り組み自立支援を心掛けられている。健康チェックシートにより、利用者の体調管理にも配慮されている。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>なるべく自然排便ができるよう、歩行運動・体操、食事内容、水分等の働きかけをしている。自然排便が困難な利用者には下剤調整を行っている。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>週3回実施しているが、利用者の体調に合わせて無理のないよう支援している。</p>	<p>入浴剤は使用せず、菖蒲湯を取り入れ清潔保持に努められている。入浴拒否の時は無理をせず、気持ちよく入浴を楽しんで頂ける様に心掛けられている。</p>	
46		<p>安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>利用者個々に合わせて休憩してもらったり、居室内設置の温度計を確認し、快適に休息されるように努めている。</p>		
47		<p>服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>個々の薬の説明書を活用したり、服薬時の事故を防ぐために何通りもチェックを行っている。</p>		

48		<p>役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>一人ひとりの得意分野等を見極め、役割・楽しみごとを、心身状態に影響のないように支援している。</p>		
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>近隣の公園に散歩を兼ねて出かけたり、毎年楽しみにされている桑山子見学・食事会・足湯等へ、利用者の心身状態を考慮しながら支援している。</p>	<p>交通量の多い連休は車での外出を避けて、散歩を楽しまれている。外食や桑山子祭り等季節の行事と花見見物等の外出支援に努められている。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>物盗られ妄想等の影響から、金銭管理は事業所扱いになっているが、希望の買い物はいつでも立て替えできるように支援している。</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>希望された時に何時でも利用ができるようになっており、手紙や年賀状等も随時渡している。</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホーム内の目印や飾り付けを、可能な限り布を使用して温かみのあるホーム内になるよう配慮したり、台所が対面式になっているので、利用者を見守りながら調理の匂い等を感じられたり、利用者のトイレ後は確認し、不快な臭いを防いだりしている。</p>	<p>利用者と職員の手作り作品（カレンダー・居室名札）等で見当識に配慮されている。食後は居室で休まれたり、ソファに寛ぎテレビを楽しまれている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファや食堂席にて、その日の心身状態により、利用者同士で過ごされたり、一人ゆっくりとされたり出来る居場所を確保している。</p>		

54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	認知症状にもよるが、危険のない程度の物を持ち込んでもらっている。	利用者の持ち込みの品物は収納場所に整理されている。掃除も行き届き、手作りの名札の明示等温かさを感じ取れるように配慮されている。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレ・浴室等をわかりやすく混乱されないよう工夫している。		
アウトカム項目					
56		職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	
57		利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	
58		利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
59		利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
60		利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
61		利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
62		利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	
63		職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない	

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
		2, 数日に1回程度ある
		3, たまに
		4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
		2, 少しずつ増えている
		3, あまり増えていない
		4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
		2, 職員の2/3くらいが
		3, 職員の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
		2, 利用者の2/3くらいが
		3, 利用者の1/3くらいが
		4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
		2, 家族等の2/3くらいが
		3, 家族等の1/3くらいが
		4, ほとんどいない